



静岡実験動物研究会

ニュースレター

2023.5.22 No.22

CONTENTS

会長挨拶	1
企画委員からのお知らせ	2
令和5年度大会開催にあたって	5
第50回研究発表会演題募集	6
会報掲載原稿提出のお願い	8

研究会に関するご意見、ご要望、お問い合わせは下記まで

静岡実験動物研究会 事務局 大石巧

〒412-0039 静岡県御殿場市かまど 1284

株式会社ボゾリサーチセンター

TEL:0550-82-9910 FAX:0550-82-9911

E-mail: ohishi@bozo.co.jp

会長挨拶

静岡実験動物研究会 会長
静岡県立大学薬学部薬理学分野教授
石川 智久

会員各位におかれましては、ご清栄のこととお慶び申し上げます。

近年、ライフサイエンスの研究分野では、遺伝子改変マウスを用いた実験が確実に増加しています。しかし、従来の遺伝子改変マウス作製では、期間やコスト、技術や設備といった多くのハードルがあり、その恩恵を受けられる研究者は限られていました。しかし、2013年に開発されたCRISPR/Cas9システムを用いたゲノム編集技術による遺伝子改変マウスの作製は、短期間、低コストで実施可能という大きなメリットがあることから、より多くの研究者に遺伝子改変マウス研究への間口を広げたとと言えます。さらには、この技術はマウス以外の実験動物にも適用できるため、例えばマウスでは困難であった実験が遺伝子改変ラットを用いることで可能になるなど、遺伝子改変動物を用いた実験の幅もさらに広がっていくことでしょう。こうした動物実験の大きな転換期とも言える今、技術やノウハウは勿論のこと、様々な情報を得て、理解していくことが求められます。会員相互の研鑽・情報交換の場である本研究会の果たす役割も、益々大きくなっていると言えるでしょう。

さて、今年度は、7月14日（金）に静岡県男女共同参画センター「あざれあ」にて企画シンポジウムを現地開催します。「動物実験技術者の共感と連携」をテーマとして、3名の先生にご講演頂きます。さらに、昨年来、交流を進めております信州実験動物研究会の会長である信州大学の吉沢隆浩先生に特別講演をしていただきます。信州実験動物研究会の会員の皆様にはオンラインでご参加いただく予定にしております。また、10月13日（金）には、クミアイ化学工業・田中 拓 先生のご尽力により、第50回研究発表会が掛川市美感ホールにて現地開催されます。特別講演として静岡県立大学食品栄養科学部の元教授である下位香代子先生に「日内変動とストレス」という題目でご講演いただきます。研究会の活性化と更なる発展は、研究発表会で多くの演題が発表され、活発な議論が行われることにかかっています。多くの演題のご登録をお願いいたします。併せて、久しぶりに情報交換会の開催も予定しています。研究成果の発表、そして情報交換会を通して、会員相互の有意義な交流の場になればと願っております。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

■企画委員からのお知らせ

企画担当幹事

白井（浜松ファーマリサーチ）、金子（静岡県立大学）、加藤（日本エスエルシー）

今年度の夏期企画は、企画シンポジウムとして「動物実験技術者の共感と連携」をテーマに 3 名の先生方にそれぞれの視点からご講演を頂くとともに、特別講演として信州実験動物研究会の吉沢隆浩先生にもご講演いただく運びとなりました。会員皆様の日夜の研究における一助となれば幸いです。また、久しぶりの現地開催ですので、会員相互の連携やコミュニケーションの場としてもご活用いただけるかと思えます。多数のご参加をお待ちしております。

令和 5 年度夏期企画

・企画シンポジウム：動物実験技術者の共感と連携

～みんなが元気に働くために！お互いを知ることからはじめよう！～

・信州実験動物研究会共催企画（特別講演）

日時：2023 年 7 月 14 日（金）13:00～17:00

会場：静岡県男女共同参画センター「あざれあ」大ホール（講演）、小ホール（企業展示）

（静岡市駿河区馬淵 1 丁目 17-1；JR 静岡駅から徒歩 10 分）

タイムスケジュール

12:30	受付開始
13:00～13:05	開会
13:05～13:55	その作業を Science（サイエンス）にしてみよう！ ー 動物実験は飼育現場からすでに始まっている、という件 ー 中野洋子（一般社団法人 日本実験動物技術者協会 理事長）
13:55～14:40	実験動物・動物実験関連業務におけるチームビルディング ～ キラキラしてたはずなの！実は今だってしたいの！ ～ 天野真理子（株式会社ケー・エー・シー 技術ソリューション部 技術研修グループ）
14:40～15:30	「分かり合えない」をつなぐサイエンスコミュニケーション わたなべちえ（サイエンス・コミュニケーター）
15:30～16:00	休憩 < 賛助会員企業展示（予定） >
16:00～17:00	特別講演（信州実験動物研究会共催企画） 希少疾病モデルマウスの開発から治療実験まで 吉沢隆浩先生（信州大学医学部基盤研究支援センター、信州実験動物研究会 会長）

※閉会後に懇親会を予定しております。

ご講演概要

【企画シンポジウム】動物実験技術者の共感と連携

1. その作業を Science (サイエンス) にしてみよう！

ー 動物実験は飼育現場からすでに始まっている、という件 ー

中野洋子（一般社団法人 日本実験動物技術者協会 理事長）

実験動物技術者が飼育現場などの作業で日々取っている「記録」。山のように積み重なったまま、放置されていませんか？「記録」を「Data (データ)」に生まれ変わらせることで、より多くのコミュニケーションを生み、動物実験の質の向上につながる、なんて事ができるとすれば?!

実験動物管理者&選任獣医師&動物実験委員会事務局でもあった経験を元に、お話してみたいと思います。

2. 実験動物・動物実験関連業務におけるチームビルディング

～ キラキラしてたはずなの！実は今だってしたいの！ ～

天野真理子（株式会社ケー・エー・シー 技術ソリューション部 技術研修グループ）

「動物実験がいかに必要かということ」、「もっとも動物に感謝できる仕事の一つを担っているということ」、「自分達の仕事がなければ困る患者さんたちがいるということ」。これらを理解し、存在意義を感じてこの業界にやってくるニューカマーの方々の目はキラキラしています。

1年後、3年後、5年後・・・キラキラが維持されている、むしろ増している方もいれば、残念ながらキラキラが寂しいことになってしまっている方もいます。この違いはなぜ起るのでしょうか？私達にできること、すべきことは何なのでしょう？万能な答えはありませんし、答えは変わっていくと思いますが、今回は、今後皆さんが考え続ける切っ掛けになればと願い貴重なお時間を頂戴いたします。

3. 「分かり合えない」をつなぐサイエンスコミュニケーション

わたなべちえ（サイエンス・コミュニケーター）

サイエンスアゴラ 2021 にて、私は動物実験経験者とそうでない人をつなぐ対話の場を設定しました。動物実験というセンシティブな内容に対して私がどのように対話の場を作っていたかを紹介します。サイエンスコミュニケーションの考え方は皆さんの日常のコミュニケーションでもきつとお役に立てると思います。

活動紹介ウェブページ：右側の QR コード参照



【特別講演】 信州実験動物研究会共催企画

希少疾病モデルマウスの開発から治療実験まで

吉沢隆浩先生（信州大学 基盤研究支援センター、信州実験動物研究会 会長）

今年5月につくば市で開催の第70回 日本実験動物学会通常総会において奨励賞を受賞された「筋拘縮型エーラスダンロス症候群の疾患モデル動物の開発と解析」の内容を中心に、静岡実験動物研究会会員に向けて先生のご研究の基礎から最新の知見までをお話いただく予定です。

【参加資格】 当会会員 及び 賛助会員、信州実験動物研究会会員（オンライン参加）

- ・非会員の方は予めご入会頂き、参加申し込みの程宜しくお願い致します。
年会費は1500円です。入会される場合はホームページの入会案内をご覧ください。
<<https://www.shizuoka-eara.com/入会案内/>>
- ・賛助会員は1機関3名まで参加可能とします（個人が正会員である必要はありません）。
所属機関単位でのお申し込みをお願い致します。

【参加申し込み】

- ・下記の企画担当委員までメールにてお申し込み下さい。
- ・可能な限り所属機関単位でとりまとめてお申し込みをお願いします。
- ・参加費：静岡実験動物研究会の会員は無料です。
※懇親会に参加される方は、懇親会費4,000円を当日受付にてお支払いください。
- ・申し込み締め切り日：2023年6月9日（金）
- ・定員は特に設けません。
- ・参加要領及び講演要旨は6月中旬以降にメールにてお知らせ致します。

【申し込みメール記入例】

件名： 【静岡実験動物研究会】教育セミナー参加申し込み

本文： 以下のとおり参加を申し込みます。

所 属：

参加者氏名：

Email アドレス：

電話番号：

懇親会： 参加／不参加

【お申込み、お問合せ先】

静岡実験動物研究会 企画担当委員 担当：白井 朋美

株式会社浜松ファーマリサーチ

Email：shirai@hpharma.jp

■ 令和5年度大会開催にあたって

静岡実験動物研究会 令和5年度大会大会長
クミアイ化学工業株式会社 田中 拓

会員各位におかれましては時下ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生から3年余りが経ち、5月8日から感染法上の位置づけが季節性インフルエンザと同じ5類に移行しました。今後の流行状況は予測できませんが、令和5年度大会は現地開催を予定し準備を進めています。

第50回研究発表会では特別講演として静岡県立大学 名誉・客員教授の下位香代子先生にご登壇いただき、「24時間型社会における環境・社会的ストレスの生体影響」についてご講演いただきます。

また、この研究発表会を若手の研究者、技術者方々の初めての発表の場にしていただき、技術提供、経過報告、情報交換や親交を深める場としてご提供できれば幸いです。35歳未満の演者様は「林榮一賞」の受賞対象となります。発表済み・未発表を問わず広く演題を募集いたしますので、多くの皆様の参加と発表を役員一同お待ちしております。

令和4年度大会開催案内

日時：令和5年10月13日（金）

受付 12:00より

総会 12:30より

研究発表会：13:00より

場所：掛川市 美感ホール

〒436-0028 静岡県掛川市亀の甲1丁目13番7号（JR掛川駅南口より徒歩約5分）

参加資格：会員のみ。参加希望者は会員登録を参加締め切りまでに行ってください。

大会参加費：静岡実験動物研究会の会員は無料

情報交換会参加費：4,000円



概要

▼総会

令和5年度事業報告

令和5年度会計報告

令和6年度事業計画

▼特別講演

「24時間型社会における環境・社会的ストレスの生体影響（仮題）」

下位香代子先生

(静岡県立大学)

▼研究発表会

※一般演題を募集しています。下記の演題募集要綱をご参照ください。

▼情報交換会

情報交換会

会員相互の親睦を深めるため、研究発表会后、ささやかながら情報交換会の開催を予定しております。奮ってご参加下さい。

日時 : 令和5年10月13日(金) 18時開催予定 2時間程度

場所 : 魚民 掛川南口駅前店

情報交換会参加費 : 4000円(予定)

■ 第50回研究発表会演題募集

静岡実験動物研究会第50回研究発表会の一般演題を下記の要綱にて募集しますので奮ってご応募下さい。発表時に35才未満の発表者(当研究会の会員)を対象とし、優秀発表賞(林榮一賞)の表彰もしています。

発表形式 : 口演(発表8分、質疑応答2分)

※応募演題数によっては発表時間を変更させて頂く場合がございます。

スライド形式 : MS-Power Point (ppt/pptx) Mac or Windows

募集要綱 : ①演題名、②発表者氏名、③共同研究者名、④所属、⑤連絡先(住所、電話番号、メールアドレス)、⑥会員区分(会員/非会員)、⑦発表時(10月13日)の年齢、⑧要旨(作成ソフトは可能な限りMS-Wordをご使用いただき、A4用紙1枚に作成下さい)。上記①～⑧を下記申し込み先にE-mail(メール添付)あるいは郵送にてお送り下さい。E-mailの件名は「静岡実験動物研究会演題

申し込み（発表者氏名）」をお願いします。

応募締め切り： 2022年8月31日

申し込み先： 〒439-0031 静岡県菊川市加茂 3360

クミアイ化学工業株式会社 生物科学研究所

田中 拓

TEL：0537-25-7373

t-tanaka@kumiai-chem.co.jp

■ 会報掲載原稿提出のお願い

第 50 回研究発表会の発表内容を静岡実験動物研究会会報に掲載させていただきますので、発表者は下記要領に従って会報掲載原稿の作成および提出をお願いします。

<会報原稿作成要領>

- 1) 原稿の長さは、図表を含めて A4 刷り上り 2 ページを目処としております。1 ページあたり 2024 字を目安にして下さい。
- 2) 原稿の作成は①～④をご参照下さい。
 - ① 句読点は「.」、「,」を用いる。
 - ② 数字と単位の間半角空白を挿入する（%の場合は空白なし）。
例) 25 mm、55 mL、82%
 - ③ 図表の表題：図の場合は図の下に、表の場合は表の上に記述する。
略語などの説明：図の場合は表題の下に、表の場合は表の下に記述する。
 - ④ 図表の文中での引用：句点付近では句点の前に記述する。
例) 増加した (図 2)。
明らかとなった (Table 1)。
- 3) その他体裁、引用文献の記載方法、刷り上りのイメージ等は、会報 45 巻 1 号 (2019) の一般抄録および巻末の投稿規程をご参照下さい。
- 4) 文章、図、写真、表は次のファイル形式で作成して下さい。
文章： Microsoft Word(doc)あるいはテキスト(txt)ファイル
図・写真： Microsoft PowerPoint(ppt)あるいは jpg ファイル
表： Microsoft Excel(xls)、Word(doc)あるいは PowerPoint(ppt)
- 5) 文章中には、図・写真および表の挿入箇所を入れて下さい。文章中に図・写真および表を挿入した原稿を作成して頂いても結構ですが、刷り上りの書式に整えていただく必要はございません。
- 6) 演題抄録の末尾に著者プロフィールを掲載しますので、著者名、略歴、主な研究、抱負、趣味、座右の銘など簡略に記載願います (必須ではありません)。体裁は会報 45 巻 1 号 (2019) の一般演題抄録をご参照下さい。
- 7) 原稿の提出は、2023 年 12 月 15 日 (金) までをお願いします。
- 8) 原稿の提出は、原稿ファイルの E-mail 添付、原稿ファイルを保存した CD-ROM 並びに印刷された原稿のご郵送のいずれかでお受けします。
- 9) 原稿の送付および原稿に関するお問い合わせは下記までをお願いします。

静岡実験動物研究会 会報担当

クミアイ化学工業株式会社 生物科学研究所

田中 拓

TEL : 0537-25-7373

t-tanaka@kumiai-chem.co.jp